

次号予告

『看護研究』54巻1号(2021年1-2月号) JPN NURS RES 2021 Jan.-Feb.

特集

量的研究・質的研究の「危うさ」とは、 混合研究法の可能性とは

第6回日本混合研究法学会オープンフォーラムより
石川慎一郎, グレグ美鈴, 成田慶一, 抱井尚子

特別記事

修士論文・博士論文の出版の促進に向けた
日本看護科学学会和文誌・英文誌の取り組み
宮下光令, 堀内成子

ナラティブ分析への誘い——看護研究における可能性
宮坂道夫

連載

集まる つながる 広がる 若手研究者のバトン・16 吉永尚紀

編集協力者

阿曾洋子／井上智子／井部俊子／太田喜久子／岡谷恵子／
片田範子／金井Pak雅子／上泉和子／萱間真美／川口孝泰／
河口てる子／グレグ美鈴／黒田裕子／小松浩子／坂下玲子／
真田弘美／筒井真優美／水流聡子／西村ユミ／野嶋佑由美／
早川和生／舟島なをみ／正木治恵／村嶋幸代／森恵美／
安酸史子／山田雅子／山本則子(五十音順)

編集後記

M-GTAをめぐるのは、「難しい…」「本を読んだけどわからない…」といった声が聞かれることが本特集や『定本 M-GTA』でも触れられていますが、私も、その1人でした。幸いにも『定本』を担当させていただき、ここぞとばかりにしつこく教えを乞い(木下先生、大変失礼いたしました)、そのおかげで雲間からかすかに光が垣間見えたと気がしています。M-GTA研究会にも参加する機会をいただいたのですが、そこはまさにインタラクティブでポジティブな経験的学習の道場で、「学ぶ→使う→教える」が三位一体で体现されているように感じました。本特集の座談会では、その醍醐味が存分に語られています。雑誌にも、読者の方々、著者の方々などとの関係があり、そこにも、多様な社会的な相互作用が生まれているのでしょうか。【研究する人間】にはまだ程遠いですが、雑誌がめざしていくべきものは何かという問いのもと、分析テーマを探っていきたいと思います。今年もさまざまなスーパーバイズを、どうぞよろしくお願いいたします。(小長谷)

看護研究 第53巻 第7号(通巻298号)
2020年12月15日発行(増刊号を含め年7回発行)
発行:株式会社医学書院 代表者 金原 俊
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
販売・PR部:(03)3817-5659
社内案内:(03)3817-5600
医学書院ホームページ:https://www.igaku-shoin.co.jp
『看護研究』編集室:(03)3817-5775
電子メールアドレス:kanken@igaku-shoin.co.jp
担当:小長谷・近江
Published by IGAKU-SHOIN Ltd.
1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo
©2020, Printed in Japan

1部定価2,200円(本体2,000円+税10%)

2021年年間購読料
(送料弊社負担,年6冊)
冊子版:11,880円(本体10,800円+税10%)
冊子+電子版:個人15,180円(本体13,800円+税10%)
電子版:個人11,880円(本体10,800円+税10%)

学割年間購読料
冊子版:9,240円(本体8,200円+税10%)
冊子+電子版:個人12,540円(本体11,400円+税10%)
電子版:個人9,240円(本体8,200円+税10%)

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・
上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化
権を含む)は株式会社医学書院が保有します。
本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタル
データ化など)は、「私的使用のための複製」など
著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。
大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上
使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為
を行なうことは, その使用範囲が内部的であっても,
私的使用には該当せず, 違法です。また私的
使用に該当する場合であっても, 代行業者
等の第三者に依頼して上記の行為を行なうこと
は違法となります。

JCOPY <出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き
禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に
出版者著作権管理機構(電話03-5244-5088,
FAX 03-5244-5089, e-mail info@jcopy.or.jp) の
許諾を得てください。